

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
【発行日】 令和 4 年 5 月 18 日 (2022.5.18)

【国際公開番号】 WO2021/186905
【出願番号】 特願 2022-508106 (P2022-508106)

【国際特許分類】
H 0 1 H 5 0 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)
H 0 1 H 6 1 / 0 1 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 H 5 0 / 0 4	E
H 0 1 H 5 0 / 0 4	C
H 0 1 H 6 1 / 0 1	T

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 3 年 7 月 15 日 (2021.7.15)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

20

【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

可撓性を有する接続電線の導体部の一端を取り付け可能な端子を備え、
電気機器の動作に対して所定の作用を及ぼす素子を有する電気機器の付属装置において、
前記電気機器の固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合する第 1 係合部と第 2
係合部を有し、
前記第 1 係合部は電気機器の種類にかかわらずその形状が共通化されるとともに、
前記第 2 係合部は前記電気機器の前記固定面の形状に応じて位置が異なる複数の係合部で
構成され、
前記第 1 係合部は前記電気機器の第 1 の被係合部に対してスライド移動することで、前記
電気機器の固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合することを特徴とする電気
機器の付属装置。

30

【請求項 2】
(削除)

【請求項 3】
可撓性を有する接続電線の導体部の一端を取り付け可能な端子を備え、
電気機器の動作に対して所定の作用を及ぼす素子を有する電気機器の付属装置において、
前記電気機器の固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合する第 1 係合部と第 2
係合部を有し、
前記第 1 係合部は電気機器の種類にかかわらずその形状が共通化されるとともに、
前記第 2 係合部は前記電気機器の前記固定面の形状に応じて位置が異なる複数の係合部で
構成され、
前記複数の第 2 係合部の少なくともいずれか 1 つは前記電気機器の第 2 の被係合部に対し
て弾性変形することで、前記電気機器の固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係
合することを特徴とする電気機器の付属装置。

40

【請求項 4】
前記複数の第 2 係合部の各々は前記第 1 係合部と同一面に形成されており、前記第 1 係
合部を挟んで対向配置された一対の係合部で構成されることを特徴とする請求項 1 又は 3
に記載の電気機器の付属装置。

50

【請求項 5】

前記複数の第 2 係合部の各々は前記第 1 係合部と異なる面に形成されており、前記第 1 係合部を挟んで対向配置された一対の係合部で構成されることを特徴とする請求項 1、3 及び 4 のいずれか 1 項に記載の電気機器の付属装置。

【請求項 6】

前記付属装置は、サージ吸収素子を有するサージ吸収ユニットであることを特徴とする請求項 1、3、4 及び 5 のいずれかに記載の電気機器の付属装置。

【請求項 7】

可撓性を有する接続電線の導体部の一端を取り付け可能なスプリング端子を備え、
付属装置の作用によって所定の動作を行う電気機器において、
前記付属装置の被固定面に前記電気機器の固定面を着脱可能に係合する第 1 の被係合部と第 2 の被係合部を有し、
前記第 1 の被係合部は前記電気機器の種類にかかわらずその形状を共通化するとともに、
前記第 2 の被係合部は前記電気機器の前記固定面の形状に応じて位置が異なり、
前記第 1 の被係合部は前記付属装置の第 1 係合部に対してスライド移動することで、前記固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合することを特徴とする付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 8】

(削除)

【請求項 9】

可撓性を有する接続電線の導体部の一端を取り付け可能なスプリング端子を備え、
付属装置の作用によって所定の動作を行う電気機器において、
前記付属装置の被固定面に前記電気機器の固定面を着脱可能に係合する第 1 の被係合部と第 2 の被係合部を有し、
前記第 1 の被係合部は前記電気機器の種類にかかわらずその形状を共通化するとともに、
前記第 2 の被係合部は前記電気機器の前記固定面の形状に応じて位置が異なり、
前記第 2 の被係合部は前記付属装置の第 2 係合部の弾性変形を受容することで、前記固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合することを特徴とする付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 10】

前記第 2 の被係合部は前記第 1 の被係合部と同一面に形成されており、前記第 1 の被係合部を挟んで対向配置された一対の被係合部で構成されることを特徴とする請求項 7 又は 9 に記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 11】

前記第 2 の被係合部は前記第 1 の被係合部と異なる面に形成されており、前記第 1 の被係合部を挟んで対向配置された一対の被係合部で構成されることを特徴とする請求項 7、9 及び 10 のいずれか 1 項に記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 12】

前記電気機器は、本体部と、スプリング端子機構を備えた負荷側端子部とから構成されることを特徴とする請求項 7、9、10 及び 11 のいずれか 1 項に記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 13】

前記本体部と、前記負荷側端子部とは、電気的かつ機械的に接続・分離可能に構成されることを特徴とする請求項 12 記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 14】

前記第 1 の被係合部と、前記第 2 の被係合部との少なくともいずれか一方が、前記負荷側端子部に設けられることを特徴とする請求項 12 又は 13 に記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 15】

前記本体部の一面と、この一面と接する前記負荷側端子部の一面とで形成される空間を

有し、この空間に前記付属装置を組み込む状態で前記電気機器の固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合することを特徴とする請求項 1 2 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 1 6】

前記本体部は凹部空間を有し、この空間に前記付属装置を組み込む状態で前記電気機器の固定面に前記付属装置の被固定面を着脱可能に係合することを特徴とする請求項 1 2 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 1 7】

前記電気機器の前記本体部は電磁接触器であることを特徴とする請求項 1 2 又は 1 3 記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

10

【請求項 1 8】

前記電気機器の前記本体部は、電磁接触器及び熱動形過負荷継電器を接続してなる電磁開閉器であり、前記電磁接触器の負荷側端子部に、前記付属装置の前記導体部が接続されていることを特徴とする請求項 1 2 又は 1 3 項記載の付属装置が取り付け可能な電気機器。

【請求項 1 9】

(削除)

20

30

40

50